

キリスト新聞

2017年
4月8日
【土曜日】

発行所 **キリスト新聞**

〒162-0814 東京都新宿区新小

電話：03-5579-2432

ファクシミリ：03-5579-2433

振替口座：00180-4-196016

URL：http://www.kirishin.com

©キリスト新聞社 2017

週刊・土曜日発行/第5週土曜日

●予約購読料(送料別)

半年分 7,900円 1年分 15,700円

1部定価300円(本体278円)

購読のお申し込み・見本紙の請求先：ファックス・薬業・ホームページ

1週間注目ツイートのピックアップ

今週のつぶやき

@kotohashi 3月29日 本みなみななみ展開催！@ス横浜店、続いてオアシス店、オアシス梅田店、ロウンディーガーデンにて開催！

すのでぜひお越しください。http://bit.ly/2nN1zql

@christweekly 3月28日 が3位だなんて笑える。中実な人もいるだろうけど、く収入に満足しているのだ。→ 意外？韓国で最も満足！

職業は... http://bit.ly/2oj3bUW

@AnimeAnime_jp 3月28日 信彦&調部順一「バチカ調査官」メインキャストに

の奇跡の謎を解く http://exci.to/2oAjs5r

@rekishi_plus 3月25日 「時空旅人」発売のお知らせ

日25日は、時空旅人5月号スト教と潜伏キリシタン」

発売日です。各書店・コンビニでご購入頂けます。雑誌掲載も、公式通販サイト「歴！ス」からチェックできます

ぜひ御覧ください。http://bit.ly/2oAkWYQ

@christw

園した人や、卒園児の母親もいる。カトリックやルテルの信徒などキリスト者の割合も多い。

東京都世田谷区のカトリック赤堤教会に隣接する場所に今年4月、87人の園児を迎え、「マリア保育園(赤堤3・201)」が誕生した。同所では、カナダのケベック外福音教会が1951年から「ファチマのマリア幼稚園」を運営してきたが、昨年3月に閉園。京都の社会福祉法人「京都ルーテル会」が保育園として新たにスタートさせた。日本福音ルーテル教会の牧師が園長を務め、赤堤教会の司祭がチャプレンとして協力するなど、教派を超えた取り組みが始まった。

高塚 都 男 牧師「一人ひとりの魂を生かす」

「ファチマのマリア幼稚園」は65年の歴史があり、地元でも人気のある幼稚園だった。しかし園長のモリス・ラベ神父が高齢のためカナダに帰国することになり、後継者不足で運営の継続が困難になったため閉園。地域の住民からは存続を望む声も多かったという。

京都ルーテル会理事長の

高塚都男氏(日本福音ルーテル教会牧師)がその話を保育園関係者から耳にしたのは昨年1月。その時は急に留めていなかったというが、翌月脳梗塞で入院した横濱の病院で、カトリック信徒の看護師から偶然再びこの話を聞いた。

京都ルーテル会は、京都市北区で「のぞみ保育園」を運営する社会福祉法人

2009年に高塚氏が法人を設立した。同氏は日本ルーテル神学校卒業後、名古屋や東京などで牧会、米国福音ルーテル教会(ELCA)の牧師として17年半カリフォルニアに在住。帰国後、06年から14年に引退するまで「のぞみ保育園」の園長ととも、隣接する日本福音ルーテル賀茂川教会の牧師を務めてきた。もともと世田谷区に生まれ、3年前から同区で保育園関係の仕事に携わっていた。

入院中にマリア幼稚園「閉園の話聞いた高塚

氏に、「世田谷」キリスト教」というキーワードから、幼稚園を保育園にできないかと考えた。ベッドに横になりながら、お前にはまだミッションがあると

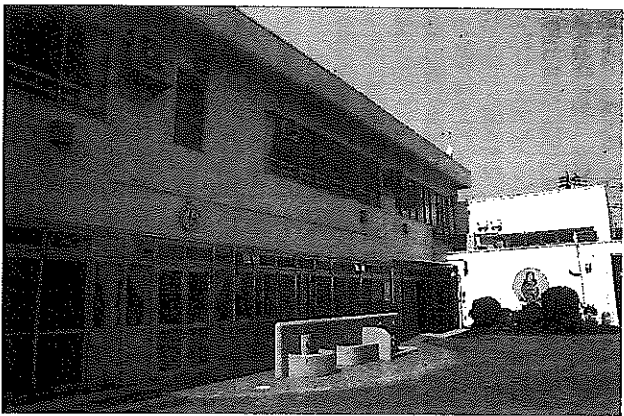
高塚氏は「地方の教会では人が集まらなくなると、教会を売ってしまうことがあるが、それなら保育園にしよう」と話した。高塚氏は「保育の中心は一人ひとりの子どもを大切にすることであり、イエスの精神とマッチしている」と話す。

高塚氏はこれまで、京都市会議員との懇談会で保育士の給与引き上げを要請してきた。人間として一番大切なものは就学前に培われる。0〜5歳児を預かる保育士の働きは非常に重要であり、どんな職種よりも給与を引き上げてほしい」と訴える。

3月18日行われた同園の「竣工感謝職員入園式」の奨励でも、高塚氏は38人の職員を前に「保育の重要性を強調した。子どもは皆生まれた時から輝き、輝いていながら神さまから与えられたものを持って生きていく。それをわたしたちはこれから担っていく。大変な仕事だが楽しみがある。喜びがある。一人ひとりの魂を生かす思いで保育をし

「保育」の使命続けよう

カトリックの幼稚園からルーテルの保育園に



「ファチマのマリア幼稚園」が「マリア保育園」へと生まれ変わって...

カトリックの幼稚園の閉園について、「65年間地域に親しまれてきた幼稚園を将来的に子どもたちのために残せれば、という考えがあった」と話す。今、日本社会に必要なのは保育園。特に世田谷区は毎年1千人ほどの待機児童がいる。できれば施設を残し、「保育」の使命を続けたいと思っていた。

しかしその願いがかなわず、不動産会社に売却しようとしていたところへ、タイムシフトよく高塚氏から保育園にしたいという話があった。苦しみを喜びに変えてくれた神さまに感謝し、「と語るガブリ神父は4月から保育園のチャプ

をやる。それがルテル式の礼拝の中であっても問題はない」と言う。カトリックの施設を他教派の団体に受け渡すことは珍しいことだと言いが、今までカトリックは自分たちの施設を運営するだけの人数がいたがこれからは同様のケースが出せる可能性がある」と予想する。

高塚氏は「地方の教会では人が集まらなくなると、教会を売ってしまうことがあるが、それなら保育園にしよう」と話した。高塚氏は「保育の中心は一人ひとりの子どもを大切にすることであり、イエスの精神とマッチしている」と話す。

高塚氏はこれまで、京都市会議員との懇談会で保育士の給与引き上げを要請してきた。人間として一番大切なものは就学前に培われる。0〜5歳児を預かる保育士の働きは非常に重要であり、どんな職種よりも給与を引き上げてほしい」と訴える。

3月18日行われた同園の「竣工感謝職員入園式」の奨励でも、高塚氏は38人の職員を前に「保育の重要性を強調した。子どもは皆生まれた時から輝き、輝いていながら神さまから与えられたものを持って生きていく。それをわたしたちはこれから担っていく。大変な仕事だが楽しみがある。喜びがある。一人ひとりの魂を生かす思いで保育をし

高塚氏は「地方の教会では人が集まらなくなると、教会を売ってしまうことがあるが、それなら保育園にしよう」と話した。高塚氏は「保育の中心は一人ひとりの子どもを大切にすることであり、イエスの精神とマッチしている」と話す。

J・ガブリ神父「子どもにも施設残せれば」



チャプレンのガブリ神父

高塚氏は「地方の教会では人が集まらなくなると、教会を売ってしまうことがあるが、それなら保育園にしよう」と話した。高塚氏は「保育の中心は一人ひとりの子どもを大切にすることであり、イエスの精神とマッチしている」と話す。

高塚氏は「地方の教会では人が集まらなくなると、教会を売ってしまうことがあるが、それなら保育園にしよう」と話した。高塚氏は「保育の中心は一人ひとりの子どもを大切にすることであり、イエスの精神とマッチしている」と話す。

高塚氏は「地方の教会では人が集まらなくなると、教会を売ってしまうことがあるが、それなら保育園にしよう」と話した。高塚氏は「保育の中心は一人ひとりの子どもを大切にすることであり、イエスの精神とマッチしている」と話す。

Child Supporter

小学校に通えない子どもは世界に5,900万人

チャイルドサポーター募集 4千円/月

日本国際飢餓対策機構 ☎072-920-2225